

ブロイラー産肉能力に関する試験 [第40報]

銘柄別比較試験

山田みちる・富久章子・吉岡正二・坂本啓二・清水正明

要 約

ブロイラーの改良と農家経営の指針を得るため、県内で飼育されている主要2銘柄について、平成26年9月10日から平成26年10月29日（50日間）まで産肉能力試験を実施した。

7週齢までの育成率はチャンキーが100%、コップが97.0%であった。出荷時体重はチャンキーが3,676g、コップが3,449gであった。飼料要求率はチャンキーが1.62、コップが1.74、プロダクションスコアはチャンキーが463.0、コップが392.4であり、ともにチャンキーの方が優れていた。一方、と体成績では、と体歩留まりがチャンキーが95.2%、コップが95.1%であった。チャンキーおよびコップのもも歩留まりに差はみられなかったが、むね歩留まりはコップが22.8%に対しチャンキーが23.9%と高かった。腹腔内脂肪はチャンキーが2.0%に対しコップが3.3%と高かった。

以上の結果から、養鶏農家の素雛導入にあたっての指針が得られた。なお、品種改良が急速に進んでいることから、今後も継続した試験が必要である。

目 的

当課では、ブロイラーの改良と養鶏農家の素雛購入の指針を得るため、過去30数年にわたりブロイラーの主要銘柄について産肉能力試験を実施している¹⁾。本試験では、県内に流通している市販2銘柄を用い、その発育性、飼料摂取量、飼料要求率およびと体成績について検討した。

材料および方法

1) 試験期間

平成26年9月10日から平成26年10月29日（50日間）まで。

2) 試験区分

供試鶏種および羽数を表1に示した。

チャンキー、コップは雌雄ともに各50羽供試し、雌雄別飼とした。

表1 試験区分

(羽)				
区	銘柄	♂	♀	計
1	チャンキー	50	50	100
2	コップ	50	50	100

3) 供試飼料

供試飼料の種類および成分を表2に示した。

試験期間を通して市販のブロイラー用飼料を用いた。

4) 飼養管理

試験鶏舎は平飼開放型鶏舎で、1室4.32m²を使用した。各鶏種ともに各室50羽（38羽/3.3m²）を収容した。育雛、育成とも同一場所で飼育した。

温度管理は当課の慣行に従った。パンケーキ型

表2 供試飼料

期 間	種 類	成 分 (%)				ME (kcal/kg)
		C P	粗脂肪	粗繊維	粗灰分	
0～3週齢	ブロイラー肥育前期用	23.0	4.0	5.0	8.0	3,010
4～6週齢	ブロイラー肥育後期用	18.0	6.0	4.0	7.0	3,250
7週齢	ブロイラー休薬用	18.0	7.0	5.0	7.0	3,300

C P : 粗タンパク質 ME : 代謝エネルギー

ガスブルーダーによる給温は2週齢時に廃した。

ブは97.0%と低かった。

飲水はニップルドリンカーを使用し、不断給水とした。

5) 衛生管理

ワクチネーションは、初生時にIB, 2週齢時にND, 19日齢時に1BD, 3週齢時にILT, 27日齢時にNDとした。その他の薬剤投与は当課の慣行に従った。

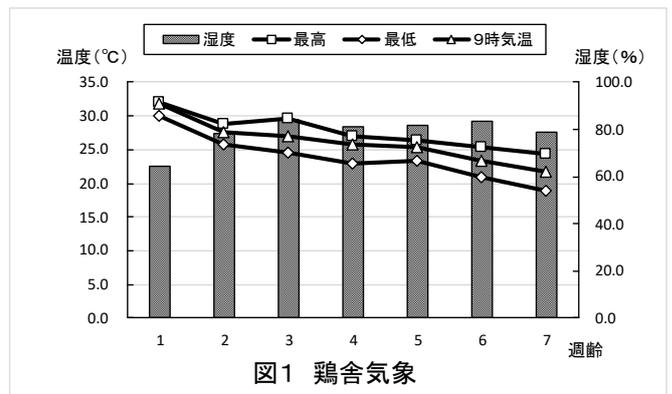


図1 鶏舎気象

6) 調査項目

調査項目は次のとおりである。

- (1) 鶏舎環境
- (2) 育成率
- (3) 発育体重
- (4) 飼料摂取量
- (5) 飼料要求率
- (6) と体成績

表3 育成率

区	育成率 (%)		
	♂	♀	平均
1	100.0	100.0	100.0
2	98.0	96.0	97.0

3) 発育体重

発育体重は表4のとおりである。

結果 および 考察

1) 鶏舎環境

鶏舎気象は図1のとおりである。

2) 育成率

育成率は表3のとおりである。

雌雄平均ではチャンキーの100.0%に対しコッ

表4 週齢別発育体重

区・性	発育体重 (g)					
	0	3	5	6	7週齢	
1 ♂	44.5	1,133	2,627	3,325	3,996	
	♀	46.0	1,025	2,198	2,754	3,395
	平均	44.6	1,079	2,408	3,025	3,676
2 ♂	40.0	1,069	2,515	3,107	3,674	
	♀	40.4	982	2,179	2,674	3,215
	平均	40.2	1,026	2,351	2,893	3,449

表5 1羽1日あたりの飼料摂取量

(g/羽/日)

飼料種類・週齢		前期用			後期用			休薬用
		1	2	3	4	5	6	7
1	♂	22.6	58.6	96.6	145.1	183.7	189.1	220.7
	♀	22.1	53.3	88.4	132.0	122.0	163.7	193.7
	平均	22.4	56.0	92.5	138.6	152.9	176.4	207.2
2	♂	23.1	57.7	95.9	150.3	178.3	176.0	190.1
	♀	23.4	58.6	86.4	139.1	158.2	165.2	183.3
	平均	23.3	58.2	91.2	144.7	168.3	170.6	186.7

雌雄ともに全期間を通して1区の方が重かった。

表7 飼料要求率

区・性		週齢			
		3	5	6	7
1	♂	1.14	1.37	1.48	1.62
	♀	1.17	1.36	1.50	1.62
	平均	1.16	1.37	1.49	1.62
2	♂	1.20	1.43	1.55	1.68
	♀	1.25	1.52	1.68	1.80
	平均	1.23	1.48	1.62	1.74

4) 飼料摂取量

飼料摂取量は表5および表6のとおりである。

7週齢までの1羽当たりの総摂取量は、1区の雄が6,415.1g, 雌が5,426.5g, 2区の雄が6,099.8g, 雌が5,699.3gであった。

表6 期間別飼料摂取量

(g/羽)

区・性	0~3		4~6		7	計
	週齢	週齢	週齢	週齢		
1	♂	1,244.6	3,625.6	1,544.9	6,415.1	
	♀	1,146.6	2,924.0	1,355.9	5,426.5	
	平均	1,195.6	3,274.8	1,450.4	5,920.8	
2	♂	1,236.9	3,532.2	1,330.7	6,099.8	
	♀	1,178.8	3,237.4	1,283.1	5,699.3	
	平均	1,207.9	3,384.8	1,306.9	5,899.6	

5) 飼料要求率

飼料要求率は表7のとおりである。

7週齢時の飼料要求率は、1区の雌雄がともに1.62, 2区の雄が1.68, 雌が1.80であった。

なお、3, 5, 6週時においても、雌雄ともに1区の方が低かった。

6) と体成績

と体成績を表8に示した。

と体調査は、7週齢時に食鳥取引規格に基づき実施した。調査に供試する個体は、各区の平均体重に近いものを、雌雄各3羽とした。

と体歩留まりは1区の平均が95.2%, 2区の平均が95.1%であった。むね肉, もも肉およびささみの合計はと体重に対して1区は48.3%, 2区は47.3%であった。

7) 経済性

経済性を表9に示した。

7週齢における1羽あたりの所得は、1区の雄が215.5円, 雌が166.3円, 雌雄平均が188.0円, 2区の雄が179.8円, 雌が127.8円, 雌雄平均が154.5円であった。これらを生体重1kgあたりの

所得に換算すると、1区の雌雄平均が51.1円、2区の雌雄平均が44.8円となった。

ブロイラーの能力は毎年向上しており、今後も継続調査を実施するとともに、ブロイラーの能力に見合った飼養管理技術の改善を図る必要がある。

文 献

1) 山田みちる・富久章子・吉岡正二・松長辰司・左達美佐・清水正明. 徳島県立農林水産総合技術支援センター畜産研究課研究報告, 14:29-32. 2015.

表8 と体成績

(体重：g, その他：%)

項目 区・性	生体重	と体重	と体 歩留	むね	もも	ささみ	むねもも	骨付き 手羽	可食内臓				腹腔内 脂肪	
							ささみ 計		心臓	筋胃	肝臓	計		
1 ♂	4,027	3,837	95.3	23.9	20.1	4.2	48.2	8.6	0.4	1.0	2.2	3.6	1.4	
	♀	3,393	3,230	95.2	24.0	19.6	4.8	48.4	7.8	0.4	1.1	2.4	3.9	2.7
	平均	3,710	3,533	95.2	23.9	19.9	4.5	48.3	8.2	0.4	1.0	2.3	3.8	2.0
2 ♂	3,650	3,477	95.3	22.6	20.0	4.2	46.8	8.6	0.4	1.1	1.9	3.4	2.8	
	♀	3,203	3,040	94.9	23.0	20.2	4.5	47.7	7.9	0.4	1.2	2.3	3.9	3.7
	平均	3,427	3,258	95.1	22.8	20.1	4.4	47.3	8.3	0.4	1.1	2.1	3.7	3.3

表9 経済性試算表

(円)

区・性	収入	支 出				P S	所得 (収支)		
		素ヒナ代	飼料費	光熱費等	計		1羽あたり	kgあたり	
1 ♂	599.4	80	269.9	34	383.9	502.3	215.5	53.9	
	♀	509.2	80	228.9	34	342.9	427.5	166.3	49.0
	平均	551.4	80	249.4	34	363.4	463.0	188.0	51.1
2 ♂	551.1	80	257.3	34	371.3	437.7	179.8	48.9	
	♀	482.3	80	240.5	34	354.5	350.9	127.8	39.7
	平均	517.4	80	248.9	34	362.9	392.4	154.5	44.8

注 1) 収入：1羽あたり平均体重 (kg) × 150円

2) 飼料費：前期用49円/kg, 後期用41円/kg, 休薬用39円/kgで試算

3) 光熱費等内訳：衛生費16円/羽, 光熱費その他等18円/羽で試算

4) PS：プロダクションスコア = {(出荷時体重 × 育成率) ÷ (飼料要求率 × 出荷日数)} × 100

5) 所得：収入 - 支出

